

県の回答（対応状況等）

令和 2年11月20日

（ご意見標題） 県立開邦中学・高等学校へのバス路線整備について

（課長名） 交通政策課長 金城 康司

（ご意見要約） 開邦中・高は県内全域が通学区域であるが、首里駅や県道を通るバス路線は不便であるため、保護者が送迎を行い、渋滞の原因となっている。学校前まで路線開設があれば多くの通学利用が見込まれる。取り計らいをお願いしたい。

（回 答）

この度は、本県の公共交通について貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございます。

バス路線の新設・ルート変更等については、バス事業者の経営判断によるところですが、ご意見につきましては当課からもバス事業者にお伝えしたいと考えております。

また、開邦高校の場合は、生徒の通学区域が広域であることに加え、授業開始時刻が早朝であるという特殊事情もございます。どのような時間帯に、どこと学校を結ぶと最も多くの需要が想定できるかといった情報があると、バス事業者としても判断が行いやすくなるため、これらについて学校からバス事業者にお伝えいただくことも有効であると考えます。

学生時代から公共交通利用に慣れ親しんでいただくことは、将来の公共交通利用促進に繋がると考えております。県としましては、引き続き路線バスのサービス向上を促進し、公共交通の利便性向上に努めて参りますので、今後ともよろしくご意見申し上げます。